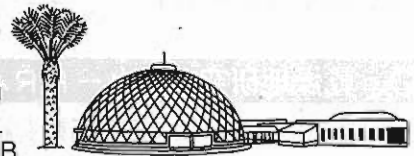


かんちけん倶楽部

TOTTORI KANCHIKENCLUB



○会員の皆さまへ

とっとり乾地研倶楽部会長 福本 登

山や海がそぞろに恋しい季節になりました。皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、米山幸太郎会長の後任を受け賜ることになりました福本 登です。その重責を果たせるかどうか不安ではありますが、精一杯頑張らせていただきます。どうぞ、宜しく願い申し上げます。

さて、現在、世界規模ですさまじいばかりの自然破壊が進んでおります。地球の砂漠化、大気汚染、オゾン層破壊、森林資源や地下資源の大量伐採・採取、無計画な開発・・・とどまるどころを知りません。

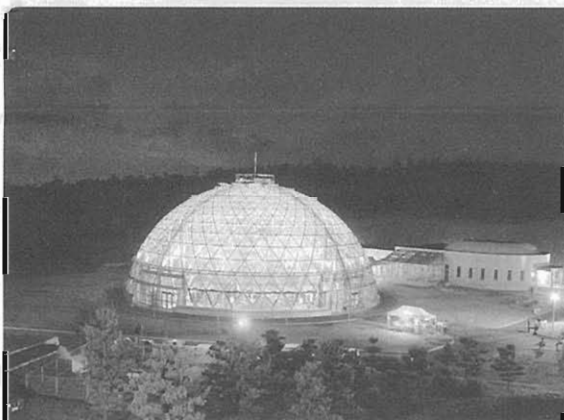
私どもはこのままの地球を次の時代の人たちに手渡すわけにはいきません。もっと、もっと美しい地球を取り戻し、手渡さなければいけません。それが責務でもあります。

このような時代の中で、鳥取大学乾燥地研究センターは、砂丘地農業の研究をベースに世界の乾燥地研究ネットワークの中核として、砂漠化の防止、食料不足を克服する乾燥地農業の研究、実践等々、世界最先端の研究が行われております。また、全国の大学研究者、世界各国の研究者が利用できる国の中核的な研究機関として整備されており、世界に誇るべき日本の知的財産としての地位を確立しておられます。

私どもは、乾燥地研究センターの活動を地域で支え、その活動と研究成果を世界に広く情報発信することを通じて**地域の発展や振興**を図るため「とっとり乾地研倶楽部」を設立し、二年目を迎えております。

当倶楽部では今後とも、この世界的財産である乾燥地研究センターの応援団として幅広く活動したいと考えております。

皆さまの多大なるご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。



ライトアップされたアリドーム
(昨年8/11の一般公開の様子)

「とっとり乾地研倶楽部」は、世界の乾燥地農業、砂漠化防止に貢献する鳥取大学乾燥地研究センターの活動を支援しています。

とっとり乾地研倶楽部 活動報告

とっとり乾地研倶楽部では、2000年10月の設立以来、さまざまな形で乾燥地研究センターの研究活動を支援してきました。その活動の一部を簡単にご報告させていただきます。

○ 乾燥地研究センターPRパンフレットを作成しました。

センターの研究内容や活動を紹介するパンフレットを10,000部作成し、会員のかたがたや一般公開などのイベントの来場者に配布しました。

○ スタッフジャンパーをつくりました。

スタッフジャンパーを作成し、一般公開など多くの人が来られるイベントの際にセンターの職員などに着用していただき、「とっとり乾地研倶楽部」をPRしました。



スタッフジャンパー

○ アリドドーム一般公開開催を支援しました。

アリドドーム実験施設一般公開を行う経費として、学生アルバイト代、ライトアップ照明器具借り上げ代、クイズ景品代などを支援しました。2001年8月11日(土)に一般公開され、約700名もの多くのかたが見学されました。

○ センターが行う海外研究者との情報交換会の開催を支援しました。

日中合同公開セミナー(2001.11.14)で来られた中国の研究者等との情報交換会開催に要する経費などを支援しました。

○ 大学院生海外派遣に対して支援しました。

センターの大学院生が中国との研究交流を進めるために派遣されましたので、その研究活動経費を支援しました。2001年8月21日~29日、中国科学院水土保持研究所等に3名が派遣されました。

○ 会員証を作成しました。

法人会員証にはけやき(足は杉)の盾(A5判)、個人会員証には杉を使った名刺大のカードを作成しました。



法人会員証



個人会員証

砂

砂漠って何?鳥取砂丘も砂漠?

漠

「砂漠」といっても一般にイメージされる砂でできている砂漠(砂砂漠)だけでなく、細かい粘土や土でできている砂漠(土砂漠)、石ころがごろごろ散らばっている砂漠(レキ砂漠)、巨大な岩が地表に多く出ている砂漠(岩石砂漠)など様々な砂漠があります。

豆

これら砂漠に共通する特徴は雨の少ないところ、乾燥した地域であるということです。

知

ではどの程度乾燥していたら砂漠と言えるのでしょうか。

識

世界の乾燥地は乾燥の程度で大きく4つに分類されています。

極乾燥地(1年間の雨量がだいたい100mm未満の地域)、乾燥地(同100~400mm)、半乾

乾地研のひと

2001年10月に来られた外国人客員教授のみなさんにお聞きしました。

- Q 1 出身地はどこですか？
- Q 2 乾地研でどんな研究をされているんですか？
- Q 3 鳥取県、鳥取砂丘についてどう思われますか？
- Q 4 鳥取の人はどうですか？
- Q 5 お国に帰られたら何をされますか？

ケレン・ラミさん（イスラエル・ネスジオナ出身）



- A 1 ネスジオナはテルアビブの南（車で約20分）に位置する、人口25,000人の小さな町です。
- A 2 土壌の構造と水理特性における水質効果について研究しています。
- A 3 鳥取県は美しい風景と素晴らしい海岸のある、平和な田舎町ですね。砂丘は年間降水量2000mmもあり、素晴らしい自然現象があります。
- A 4 鳥取県の人々は大変親切で、とても温かく歓迎してくれます。沢山できた友人の家を訪問したり、時には夕食に招いたりしました。何人かの友人と共に旅した際には、伝統的な日本の生活様式や美しい場所を案内してもらいました。
- A 5 農業研究機構ボルカニセンター、土壌・水及び環境科学研究所での研究を続け、ヘブライ大学で教鞭も執ります。

ベルリーナ・ペドロ・ルーベンさん（イスラエル・ステボガー出身）



- A 1 ステボガーはネゲヴ砂漠中央にある、150世帯ほどの小さな村です。
- A 2 木やその他の植物への水利用に関係した研究を行っています。
- A 3 鳥取は自然の魅力にあふれた、美しい景色の町ですね。
- A 4 人々は大変親切で、外国人の私たちをいつも手助けしてくれます。
- A 5 私の研究を続け、鳥取での楽しい思い出を同僚へ伝えます。

燥地（同400～600mm）、乾性半湿潤地（同600～1200mm）。

このうち極乾燥地がほとんど雨の降らない地域で、人の生活が難しく、植物もほとんど見られない、いわゆる砂漠であるということが出来ます。場合によっては乾燥地でも砂漠と呼ぶ場合があります。

鳥取砂丘はちょっと見ると砂漠のようです。

鳥取砂丘は砂漠と言っていいのでしょうか？

鳥取は1年間に約2000mmの雨が降ります。決して乾燥地ではありません。植物が生えないのは砂が動いているからで、砂の動きが止まればたちまち植物がたくさん生えてきます。

鳥取砂丘は砂漠とは言えないのです。

7月から休日もミニ砂漠博物館を公開

7月から11月までの土・日曜と祝日にも、乾燥地学術情報展示室（通称「ミニ砂漠博物館」）が公開されることとなりました（公開時間 午前10時30分～午後4時30分、入場無料、予約不要です）。これはとっとり乾地研倶楽部の支援で実現したものです。

アリドドーム一般公開日が決定

今年第1回目の一般公開日が8月10日（土）に決まりました。昨年好評だったアリドドームのライトアップが今年も行われます。ほかにも楽しい催しがたくさん用意されますので、是非足をお運びください。（公開時間 午後4時～9時）

砂丘の情報発信イベント ぞくぞくと開催

国民文化祭とっとり2002の主催事業として、シンポジウム「砂と文化 ～砂丘と生きる 砂と遊ぶ～」が10月13日（日）に鳥取県民文化会館で開催されます。鳥取砂丘の歩みを振り返り、砂丘で生まれた文化について考えるいい機会になりますので、ご参加ください。

また、乾燥地研究センターでは第2回目のアリドドーム一般公開（10月14日（月）（体育の日））、小学生に砂漠や砂漠化に対する理解を深めてもらう「きみもなろう砂漠博士」（11月3日（日））などのイベントが開催される予定です。

第2期会員を引き続き募集中

第1期には当倶楽部の活動の意義を理解いただき、たくさんの会員（法人51団体、個人281名）のかたに加入していただきました。

今期もそれ以上にたくさんのかたがたに加入していただきたいと考えておりますので、知り合いのかたに御案内いただくなど、乾燥地研究センターと地域の発展を願う輪を広げることにご理解とご協力をお願いします。

資料

○ とっとり乾地研倶楽部の設立趣旨

砂漠化防止や乾燥地農業について世界的に貢献している鳥取大学乾燥地研究センターは、世界の乾燥地研究ネットワークの中核として学術研究、人材育成に大きな役割を果たしており、地域にとっても世界に誇るべき知的財産です。

そこで、鳥取大学乾燥地研究センターの活動を地域で支え、その研究活動と研究成果を広く情報発信することを通じてこの地域の発展を図るために「とっとり乾地研倶楽部」を設立しました。

○ 事業計画

- 1 乾燥地研究センターの研究活動・研究成果の情報発信
 - ・ 乾燥地研究センター及びアリドドームの広報資料の作成・配布
 - ・ 乾燥地研究センターの一般公開等に対する支援
 - ・ 乾燥地研究に関するセミナー・ワークショップの情報提供
- 2 乾燥地研究センターにおける海外研究機関等との研究交流の促進
 - ・ 乾燥地研究センターの大学院生の海外派遣に対する支援
 - ・ 海外研究機関の研究者等との情報交換会の開催

発行：とっとり乾地研倶楽部事務局

鳥取商工会議所

鳥取市本町3丁目102番地/TEL(0857)26-6666

FAX(0857)22-6939

鳥取県企画部企画振興課

鳥取市東町1丁目220番地/TEL(0857)26-7169

FAX(0857)26-7127